



こちら
中央区です **3**月号
平成31年

編集 中央区役所
〒860-8618 中央区手取本町1番1号 ☎096-328-2555(代表)

・総務企画課 ☎096-328-2610
・区民課 ☎096-328-2240
・福祉課 ☎096-328-2312

・保護第一課・第二課 ☎096-328-2320
・保健子ども課 ☎096-328-2419
・中央税務課 ☎096-328-2181

中央区まちづくりセンター ☎096-328-2232

中央区の人口 (平成31年1月1日現在推計人口) **人口** 188,156人(-19) **世帯** 98,790世帯(-42) **面積** 25.45km² (国土地理院公表値)

親子でつくろう！防災食 **無料**

ランチを食べながら災害時の栄養や家庭での備蓄について学びましょう。

日時 3月27日(水)
午前10時～午後1時

場所 市総合体育館・青年会館調理室

対象 市内に住む小・中学生と保護者

定員 20組(抽選)
申込 3月18日までに、子ども・保護者の氏名、住所、子どもの学年(年齢)、電話番号を電子メール(oyako@fm791.jp)かファクス(096-323-6622)で熊本シティエフエムへ

詳しくは、熊本シティエフエム(☎096-323-6611 平日午前9時～午後5時)へ。
(中央区役所総務企画課)



「水前寺まつり2019」を開催します

水前寺の春のおまつり、「水前寺まつり2019」を今年も開催します。

メイン会場となる水前寺成趣園や参道では、子ども古今伝授や日本舞踊、縁日など子ども向けの催し物が開催されます。また、水前寺江津湖公園ではステージイベントや地元物産の販売などを行います。夜には竹オブジェを使用したライトアップも実施され、やさしい灯りに包まれた幻想的な空間を楽しむことができます。

ぜひこの機会に、春の水前寺を堪能してみませんか。

日時 3月23日(土)、24日(日)
午前10時～午後9時
※天候により予定変更、中止する場合があります。

場所 水前寺成趣園、水前寺参道、水前寺江津湖公園(市立体育館電停前)

主催 水前寺まつり実行委員会
詳しくは、水前寺まつり実行委員会事務局(☎096-284-7766)へ。



専門医による心の健康相談 **無料**

「何日も眠れなくてつらい」「食欲がなく、気持ちが落ち込み何もする気がおこらない」「受診させてくても本人に病気の認識がない」など、心の病気で悩む方、気軽にご相談ください。

日時 3月18日(月) 午後2時～4時
場所 中央区役所3階保健子ども課相談室

内容 専門医による個別相談
対象 心の病気の方や家族の方など

定員 2組(先着順)
申込 3月15日までに、電話で中央区役所保健子ども課へ

認知症介護家族のつどい

介護の悩みを打ち明けて本音が話せる場です。

■**こもれびひろば**
日時 3月15日(金) 午後1時半～3時半
場所 水前寺高齢者複合施設(中央区国府1丁目3-15)

対象 認知症介護家族
費用 100円
申込 電話でささえりあ水前寺(☎096-362-0065)へ

■**もやいの広場**
日時 3月23日(土) 午後1時半～3時半
場所 風流街もやい館グループホーム五福(中央区細工町4丁目34-1)

対象 認知症介護家族
費用 100円
申込 電話でささえりあ熊本中央(☎096-319-0222)へ



中央区ニュース

世安湯×県立大学コラボ 外国人向けモニターツアーが開催されました！



(初めて見る銭湯)



(薪くべ体験)

1月26日(土)、中央区世安町の「世安湯」にて外国人に日本の銭湯文化を知ってもらうモニターツアーが開催されました。これは、利用者が減っている銭湯の魅力を発信しようと、県立大学生とのコラボ企画で実施されたものです。

当日は、県内在住の外国人6人が参加。入浴の心得やマナーなどを学び、掃除や薪くべ、番台などを体験した後、お湯につかってリラックスし、参加者からは「銭湯の良さがわかってまた来なくなった」などの声が寄せられました。

(中央区まちづくりセンター)

魅力再発見

城下町くまもと散策
第山西校区1
「託麻野に生ふる紫」

託麻野に 生ふる紫 匂ふごと 開けゆくまち
帯山の 西の森かげ 歌ゆかし わがふるさとよ
これは帯山西小学校校歌「託麻野に」の1番の歌詞ですが、皆さんは「紫」という植物をご存知でしょうか。紫は、ムラサキ科の多年草で、初夏に白く小さな花をつけます。根の部分が紫色をしており、古くから紫色の染料として珍重され、万葉集ではその名が度々登場するほど。同校歌では、「紫のやさしき姿…」と3番の歌詞にも登場し、同校の校花になっています。



託馬野に 生ふる紫草 衣に染め いまだ著ずして色に出にけり

これは万葉集の一首で、紫を題材に、女流歌人笠女郎が万葉集の編纂者である大伴家持に贈った恋歌のひとつ。先述の校歌も、この一首に拠っています。

ここで登場する「託馬野」は、未だ所在の候補地が分かれており、はっきりと解明されていませんが、その候補地の一つに熊本が挙げられているそうです。現在では自生する紫はほとんど見られませんが、古くは熊本の地に紫の花畑が広がっていたのかもしれない。

【参考文献】
河上良輝作詞、岩津範和作曲(昭和54年12月3日制定)『帯山西小学校校歌「託麻野に」』
熊本日日新聞社編集局編著(昭和2年3月発行)『新・熊飽学』(地域学シリーズ、6) 熊本日日新聞社

(中央区役所総務企画課)